

1 都市計画マスタープランの構成について

【現行】

計画の前提

- 1 マスタープランの位置付けと構成
- 2 守山市の広域的位置づけ
- 3 マスタープランの見直しの背景
- 4 守山市の現状と課題

全体構想

- 1 まちづくりの理念と都市計画の目標
- 2 将来都市構造
- 3 土地利用の方針
- 4 自然環境との共生の方針
- 5 都市施設整備等の方針
- 6 景観形成の方針
- 7 都市防災対策の方針

学区別構想

- 1 地域区分の考え方
- 2 学区ごとの取りまとめ

市民と協働のまちづくり

まちづくりの具現化方策

- 1 市民交流ゾーンにおける適切な土地利用誘導
- 2 レインボーロード沿道における適切な土地利用誘導
- 3 市街化調整区域の既存集落型地区計画のあり方
- 4 JR守山駅周辺の立地特性と今後の変化を踏まえた都市計画のあり方
- 5 都市構造の変化、土地利用の動態変化を踏まえた用途地域等の見直し
- 6 長期未着手の都市計画施設

細分化

詳細は、各計画で定める
(土地利用の方針を除く。)

学区別構想から
地域別構想に

地域別構想で記載

新設

【次期】

第1章 都市計画マスタープランとは

- 1 都市計画マスタープランとは
- 2 都市計画マスタープランの位置付けと構成
- 3 策定の背景と考え方

第2章 市を取り巻く状況

- 1 守山市の広域的位置付け
- 2 守山市の成り立ち
- 3 市を取り巻く時代の潮流
- 4 これからの都市づくり

第3章 現状と課題

- 1 守山市の現状
- 2 市民意識の把握
- 3 守山市の都市づくりの取組
- 4 守山市の課題

第4章 都市づくりの理念および都市計画の目標

- 1 都市づくりの理念
- 2 都市計画の目標
- 3 人口フレーム

第5章 全体構想

- 1 将来都市構造
- 2 分野別方針

第6章 地域別構想

- 1 地域区分の考え方
- 2-1 南部都市地域
- 2-2 北部湖岸地域
- 2-3 田園地域

第7章 都市計画マスタープランの推進方策

- 1 推進体制
- 2 都市づくりの推進
- 3 進行管理と見直し

2 全体構想と地域別構想について

【全体】

現状
課題
理念
目標
方針

理念

活力ある都市空間と良好な自然環境が
調和した豊かな田園都市

目標

目指す都市の姿
人口減少を踏まえた持続可能な都市

目指す市民の姿
すべての人がいきいきと暮らす

目指す環境1
安全で安心して住み続けられる

目指す環境2
にぎわいと活力を育む

目指す環境3
自然の恵みと歴史・文化・景観を活かす

都市づくりの前提
市民とつくる協働のまちづくり

【地域別構想】

○南部都市地域

現状
課題
将来像
目標
方針

将来像

利便性を活かし
「都市の機能」と「居住環境の魅力」が調和した地域

目標

- 1 JR守山駅を中心としたにぎわいのある都市
- 2 都市の利便性と快適な居住空間が調和した暮らしやすい都市
- 3 伝統的な景観が保全・活用された都市

●駅および駅周辺

目標
方針
琵琶湖線で一番魅力のある
駅前エリアの創出

●市民交流ゾーン

目標
方針
地域特性を活かした
魅力的な空間の形成

○北部湖岸地域

現状
課題
将来像
目標
方針

将来像

ポテンシャルを活かし
「湖岸の資源」と「居住環境の魅力」が調和した地域

目標

- 1 北の玄関口としての特性を活かし日常生活サービス機能と観光・レクリエーション機能が
充実した都市
- 2 北部特有の都市機能と心地よい居住空間が調和した暮らしやすい都市
- 3 琵琶湖湖岸の自然環境が保全された都市

○田園地域

現状
課題
将来像
目標
方針

将来像

自然環境を活かし
「田園の価値」と「居住環境の魅力」が調和した地域

目標

- 1 主体的な住民活動により伝統ある集落が維持されているまち
- 2 保全された農地と有効に活用された土地が調和しているまち
- 3 公共交通の形成・充実により拠点とのつながりのあるまち

●レインボーロード沿道

目標
方針
活力と秩序ある
沿道空間の形成